

14 ポイント 国際協働学習 iEARN レポートの書き方

12 ポイント ここで iEARN レポートの書式を示す

所属 名前

要旨 10.5 ポイント 200 字。iEARN レポートは ISSN ナンバーを取得しており、応募されたレポートは JEARN オンラインジャーナルとし、<https://www.jearn.jp/iearn-report/index.html> に掲載される。応募されたレポートは、プロジェクト実践編、小学校実践編、中・高実践編、大学実践編、その他、に目次上分けて掲載予定である。本レポートの書式は以下のとおりであり、書式に沿って記述し提出をお願いしたい。

キーワード 10.5 ポイント 要旨の後に 1 行空けてキーワードを 5 つ程度を書いて下さい。

1. はじめに (10.5 ポイント)

本文 10 ポイント。ここには、レポートに関する背景や動機などについて記述する。例えば、学校の多忙化にともない、外国の交流相手校と時間をかけながら行う国際交流プロジェクトは実施が難しくなってきた。しかし、小学校での英語の教科化などで、英語を使う必要感を感じさせる場も必要となってくる。このような状況下で、膨大な労力をかけず、且つ自分のクラスの裁量である程度進めることができるものとして iEARN のプロジェクトを推進したい。

2. 目的と方法 (10.5 ポイント)

2-1 目的 (本文 10 ポイント)

実践で明らかにしたいことを記述する。例えば〇〇プロジェクト上で、異文化理解を深める中で、目的意識、相手意識をもつための要素を明らかにするなど、最後には評価の方法もあれば記述する。

2-2 方法

1) 実施計画案

教科名または活動名と時間

プロジェクトの活動時間：(分×コマ)

【記入例】 45 分×3 コマ

2) 内容項目

特にこの報告書で取り上げたい内容【記入例】相手国との交換物などについての取り組みの視点など

3) 評価方法

(主な教科) 関連単元 (教科書名など)

評価の 3 観点と 5 領域

【記入例】

外国語「ユニット7 Welcome to Japan 日本の四季や文化を紹介しよう」(New Horizon Elementary 5) Check Your Steps 3「日本のすてきを紹介しよう」
3 観点: 知識・技能/ 思考・判断・表現 /主体的に学習に取り組む態度

5 領域: 話す(発表)

3. 活動内容 (10.5 ポイント)

3-1 具体的な実施内容 1

活動内容は、研究方法に対応させて実施したことを記述する。

3-2 具体的な実施内容 (サンプル例)

導入授業として、世界に関心が広がるように、導入ワークショップの実施や、導入授業として使える教科の場面の検討。

表の題名は上に、写真、図の題名は下に掲載。

表 1 導入授業 (表の題は上に)

| 番 | 項目 |
|---|----------------|
| 1 | ワークショップ 100 人村 |
| 2 | 英語 自己紹介 |
| 3 | 社会科 国連 |
| 4 | 道徳 国際理解 |

3-3 具体的な実施内容 (サンプル例)

自己紹介のカードの交換を行い、留学生としてぬいぐるみを送り、滞在しているようすを TV 会議をとおして知らせ合った。特に日本のアニメの紹介などでは大変盛り上がった。



写真 1 TV 会議の様子

活動内容の項目については、適宜項目を増やしてもよい。

4 成果と課題 (10.5 ポイント)

○成果 (サンプル例)

・お互いに実際の物 (留学生) をやり取りすることで、異文化理解への動機づけにはつながると感じた。実際に贈られてきた物に触れ、視覚や聴覚を通して日本との違いや、また日本と同じところにも気づき、実感を伴った異文化理解になった。

・自己紹介カードやTV会議等、実際に相手に伝えるという活動を通して、伝えるためにはまずは自分達が知る必要があると、必要感のある自文化理解につながられた。

・地域には本当に多くの「魅力」が存在していることに改めて気づいた児童も多かった。そして、この「魅力」を今後に残していくために、自分達に出来ることは?と、これからの自分自身の在り方にまで、考えが深まる児童も見られた。

○課題

・相手校の理解にはつながったが、その国の事自体の理解にまで発展させられなかった。今後の人生に於いての、きっかけになれば良いかと思う。交流のスケジュールをきちんと決めること、教育問題をもう少し掘り下げることが必要であると考えている。

4) レポートタイトル

5) レポートの分類

(プロジェクト実践、小学校実践、中・高実践、大学実践、その他の実践)

6) 予定頁 1 から 4 ページ

7) その他質問等

原稿の仕上げと投稿

1) チェック項目

・ページ番号やヘッダー、フッターを入れない。

・章や図表を参照する番号は正しいか。

・原稿のデータサイズが大き過ぎないか。

(目安として 10MB 以下)

2) 投稿

原稿の.docx ファイル及び pdf ファイルを、定められた期日までに担当者に提出して下さい。

3) 著作権

活動報告書はホームページに公開されますので、著作権については留意して下さい。

お問い合わせ先

JEARN 事務局 office@jearn.jp

よろしく願いいたします。

注意事項

エントリー締切り 2022 年 3 月 7 日 (月)

原稿締切 2022 年 4 月 11 日 (月)

オンライン公開日 2022 年 6 月 1 日 (水)

エントリー申込先、

<https://forms.gle/BZvHieq56APiW3ry6>

原稿 送り先

kshimizu2003@gmail.com

担当者 金沢星稜大学 清水和久

A4 原則 1 ページから最大 4 ページまで (2 ページ推奨)

エントリー時に以下の内容を送ってください

1) メールアドレス

2) 所属

3) 名前